



## ② 2013年度 第3四半期決算説明資料

2014年3月



エネルギー・資源・素材の<sup>みらい</sup>Xを。

JXホールディングス株式会社

<b>主なトピックス（2013年4月～2014年2月）</b>	2
<b>2013年度第3四半期決算</b>	
➤ 事業環境	4
➤ 2013年度第3四半期決算	6
<b>2013年度通期見通し</b>	
➤ 2013年度通期見通し	13
➤ 前提条件・感応度	19
<b>第2次中期経営計画進捗</b>	
➤ 主要プロジェクトの進捗状況	21

# 主なトピックス（2013年4月～2014年2月）



## JXエネルギー

- 4月 日本初となるガソリンスタンド一体型水素ステーションを神奈川県海老名市にオープン
- 5月 中京圏初となるガソリンスタンド一体型水素ステーションを愛知県名古屋市にオープン
- 8月 福島県・秋田県・沖縄県でのメガソーラー発電事業の開始を決定
- 8月 鹿島製油所への溶剤脱れき装置および発電装置の設置を公表
- 10月 山口県でのメガソーラー発電事業の開始を決定
- 10月 (株)LIXILと業務提携契約を締結
- 10月 ファーストソーラー社と太陽電池モジュールの日本市場での販売事業に関する契約を締結
- 11月 かすみがうらメガソーラーが竣工
- 2月 インドネシアにおける燃料油の輸入・販売事業の開始を決定

## JX開発

- 5月 オーストラリア北西大陸棚フィヌケインサウス油田が商業生産を開始
- 6月 オーストラリア北西大陸棚において探鉱区権益を取得
- 7月 オーストラリア北西大陸棚WA-49-R鉱区においてガスを発見
- 9月 マレーシア・サラワク州沖における新規探鉱区を取得
- 11月 ベトナム沖15-2鉱区ランドン油田の権益期間を延長
- 11月 マレーシア・サラワク州沖において探鉱区権益を取得

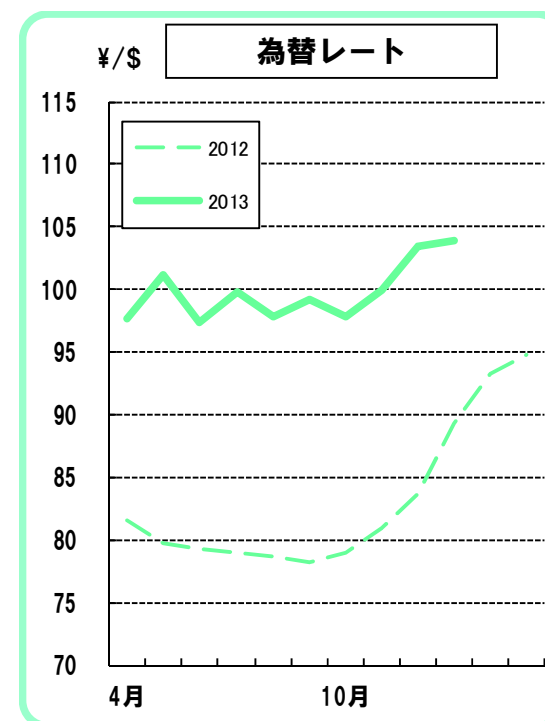
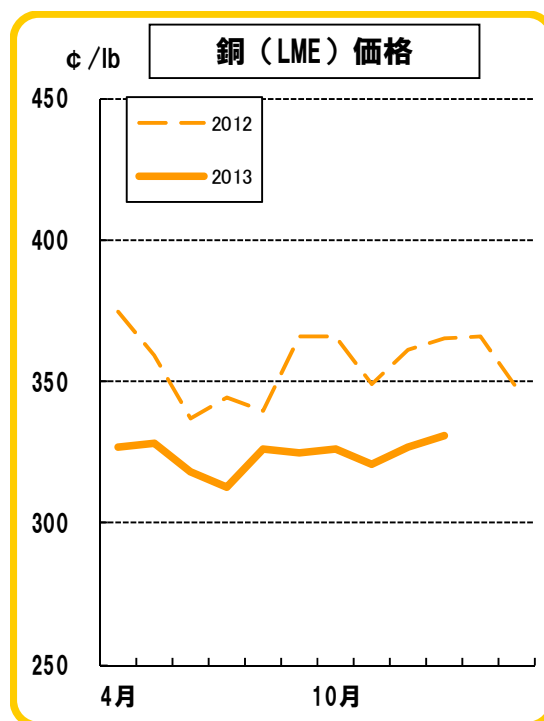
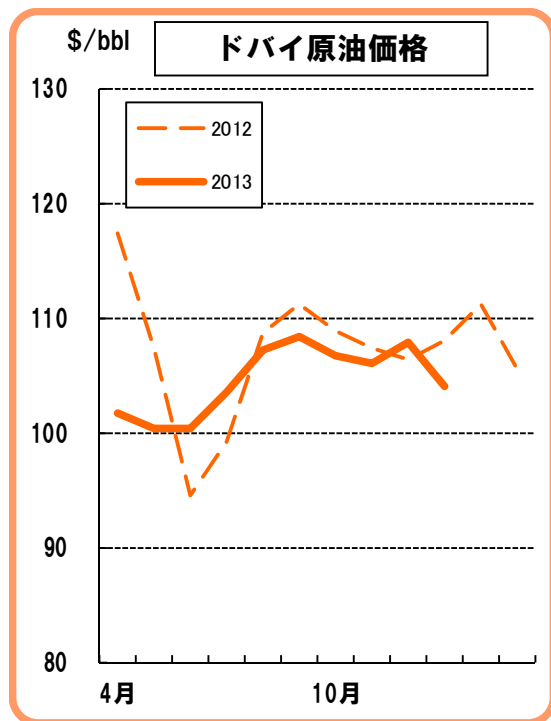
## JX金属

- 4月 精密部材・コネクタ等を製造する掛川新工場が操業開始
- 10月 カセロネスプロジェクトの進捗状況を公表
- 11月 フラットパネルディスプレイ用および半導体用スパッタリングターゲットを生産する台湾日鑛金属股份有限公司龍潭工場が竣工
- 12月 銅精鉱・硫酸兼用船（鉱硫船）「鉱硫号」が竣工
- 1月 東邦チタニウム（株）がサウジアラビア王国におけるスポンジチタン製造合併事業について基本合意



**2013年度第3四半期決算**  
**(2013年4月1日～2013年12月31日)**

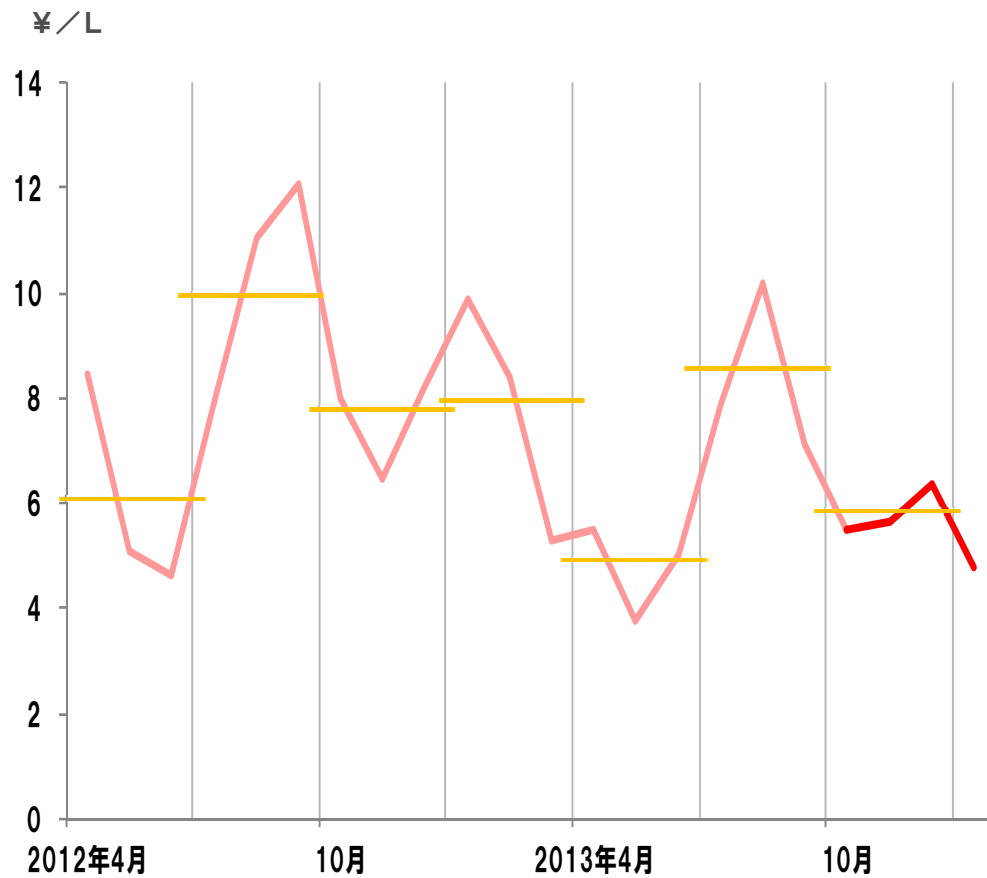
# 事業環境①（原油価格・銅価・為替レート）



- 世界経済は、米国経済の底堅い成長等、回復の兆しを見せつつも、欧州経済の低迷、新興国の景気拡大ペース鈍化等、不透明な状況。一方、日本経済は円安・株高が進行し、改善の動き。
- 原油価格は4-6月には米中の景気減速懸念により下落したものの、7月以降は地政学的要因から上昇。
- 銅価は中国での一層の需要鈍化の懸念等により、期平均では下落。
- 円の対米ドル相場は、日本銀行の金融緩和や米国の景気回復を背景に円安基調で推移。

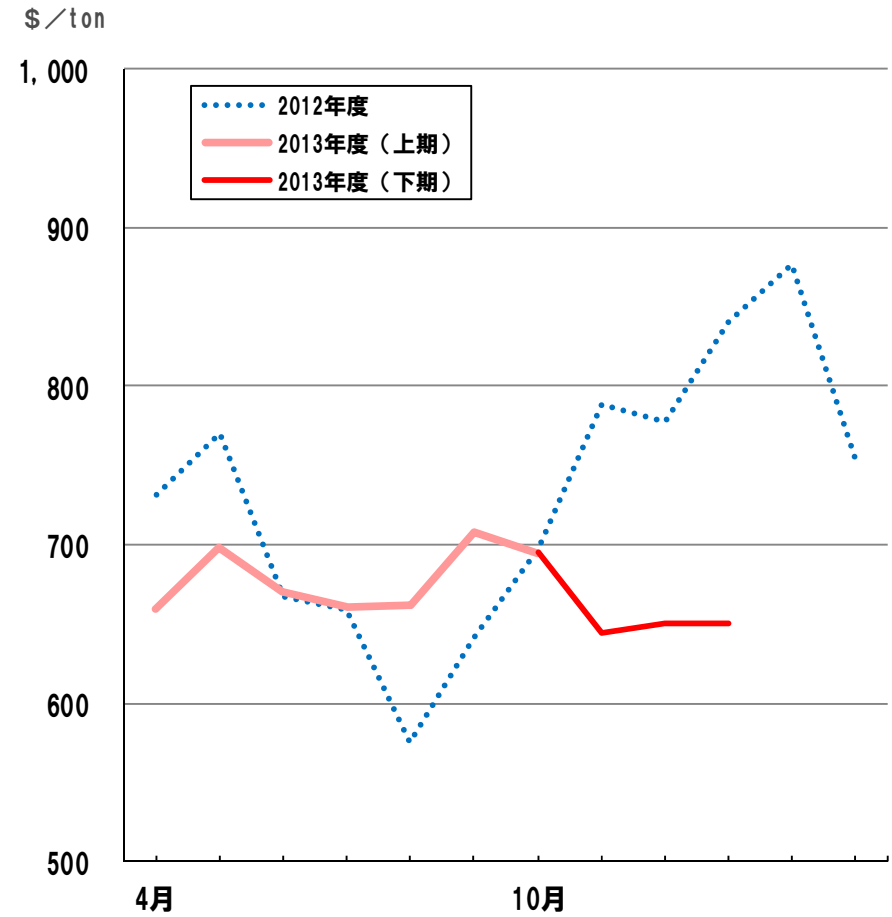
# 事業環境②（白油4品・パラキシレンマージン）

## 白油4品マージン推移



\* スポット価格－全国通関原油C I F（石油税・金利含み）

## パラキシレンマージン推移



\* ACP－原油価格（当月ドバイスポット）

# 2013年度第3四半期 決算概要 (前年比)

\* 3月から11月の平均 (≒到着ベース)

原油代(トバイ) (\$/B) *
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)
売上高
営業利益
営業外損益
経常利益 (うち在庫影響)
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2012年度 第3四半期 (実績)	
	109
暦年へ-ス	(361) 355
暦年へ-ス	(79) 80
(億円)	
	80,546
	1,350
	528
	1,878
	(▲141)
	2,019
	▲116
	919

2013年度 第3四半期 (実績)	
	104
暦年へ-ス	(335) 323
暦年へ-ス	(97) 99
(億円)	
	90,036
	2,017
	542
	2,559
	( 971 )
	1,588
	▲82
	1,319

差 異			
	▲5		▲5%
暦年へ-ス	(▲26)	▲32	暦年へ-ス (▲7%) ▲9%
暦年へ-ス	(+18)	+19	暦年へ-ス (+23%) +24%
(億円)			
	+9,490		+12%
	+667		+49%
	+14		+3%
	+681		+36%
	(+1,112)	( - )	( - )
	▲431		▲21%
	+34		-
	+400		+44%

# 2013年度第3四半期 セグメント別経常利益

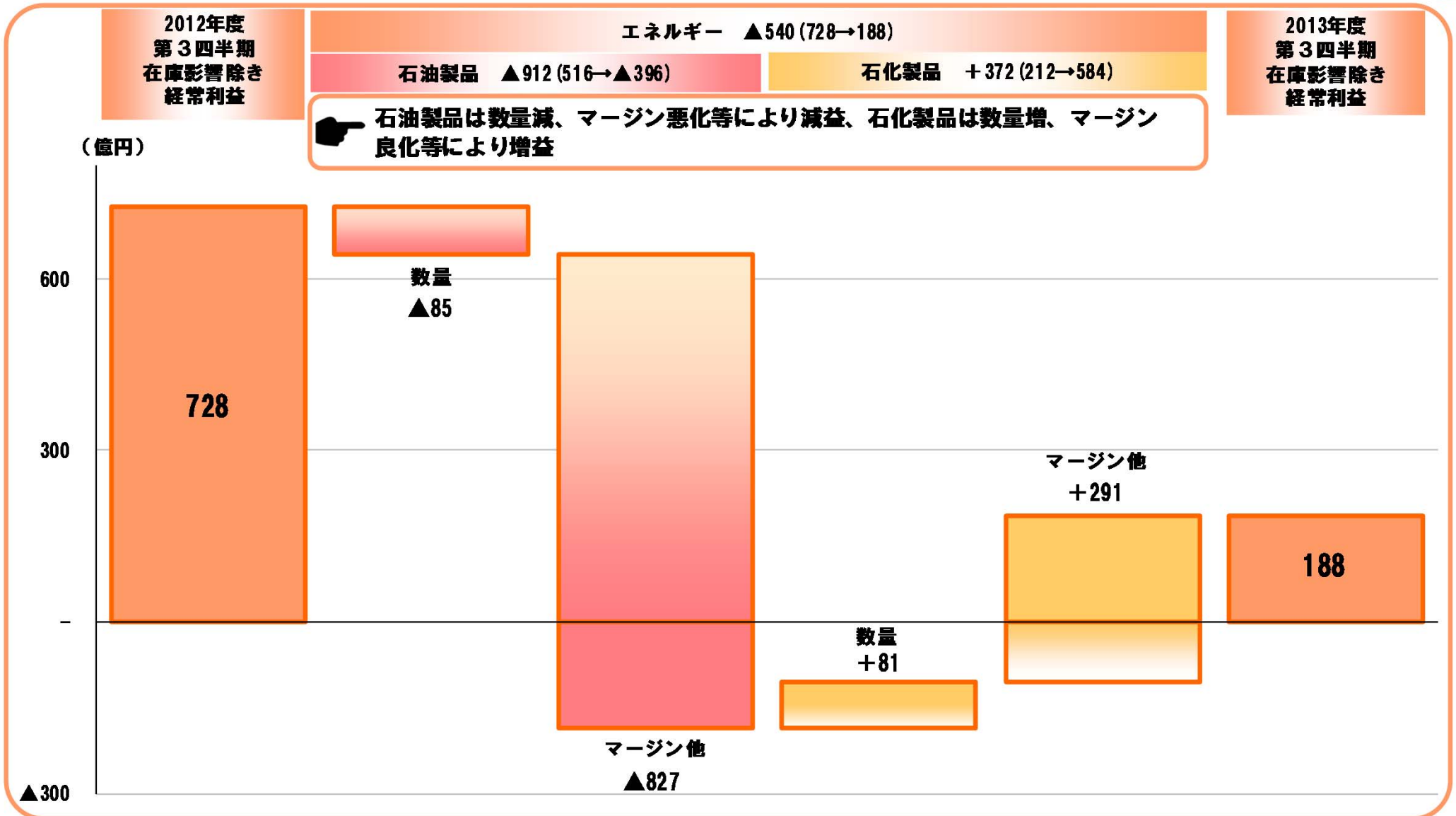
(前年比)



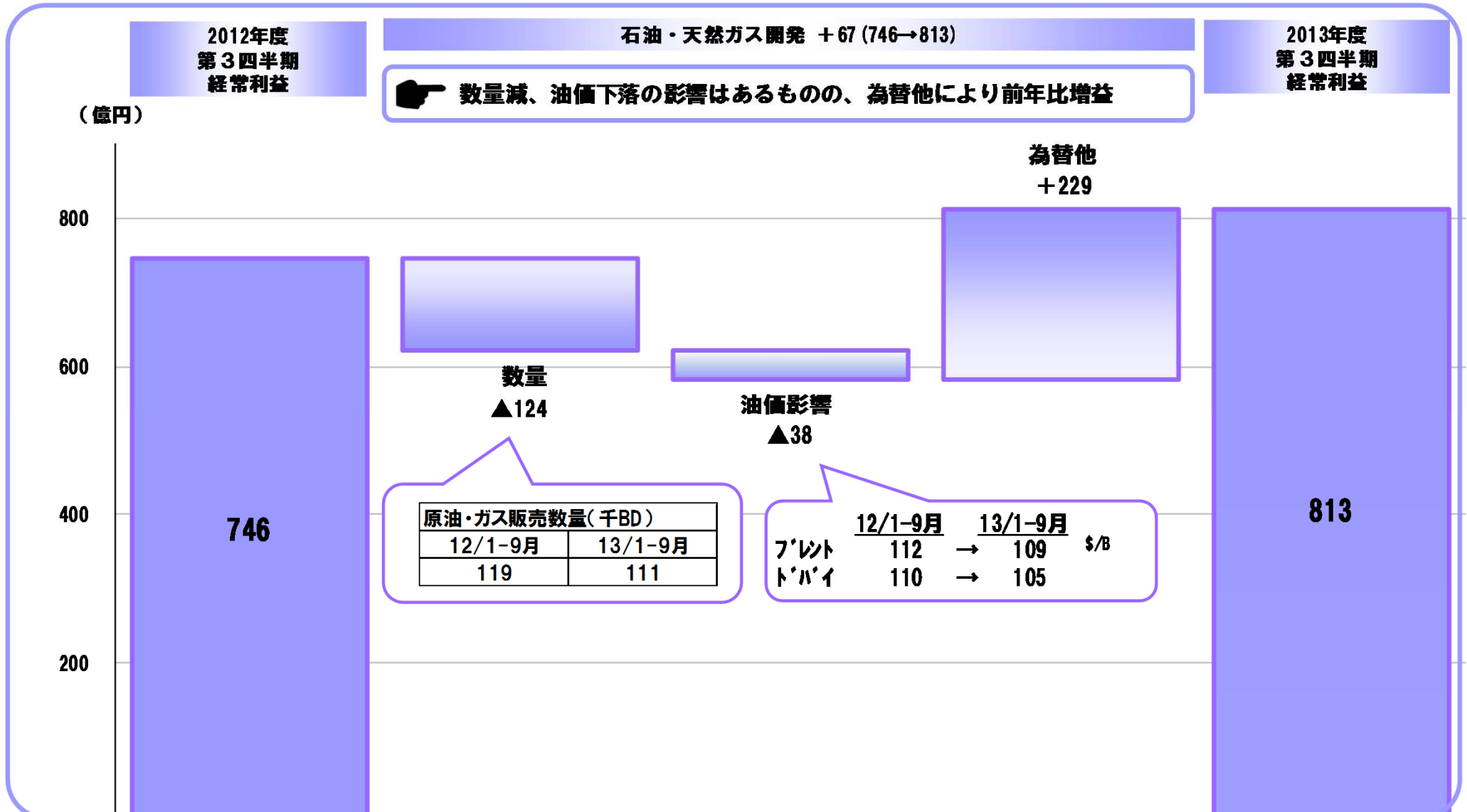
	2012年度 第3四半期 (実績)	2013年度 第3四半期 (実績)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>エネルギー事業</b>	610	1,126	+516	+85%
（うち在庫影響）	(▲118)	(938)	(+1,056)	-
<b>在庫影響除き</b>	728	188	▲540	▲74%
（うち石油製品）	(516)	(▲396)	(▲912)	-
（うち石油化学製品）	(212)	(584)	(+372)	+175%
<b>石油・天然ガス開発事業</b>	746	813	+67	+9%
<b>金属事業</b>	322	361	+39	+12%
（うち在庫影響）	(▲23)	(33)	(+56)	-
<b>在庫影響除き</b>	345	328	▲17	▲5%
<b>その他</b>	200	259	+59	+30%
<b>経常利益 計</b>	1,878	2,559	+681	+36%
<b>在庫影響除き</b>	2,019	1,588	▲431	▲21%



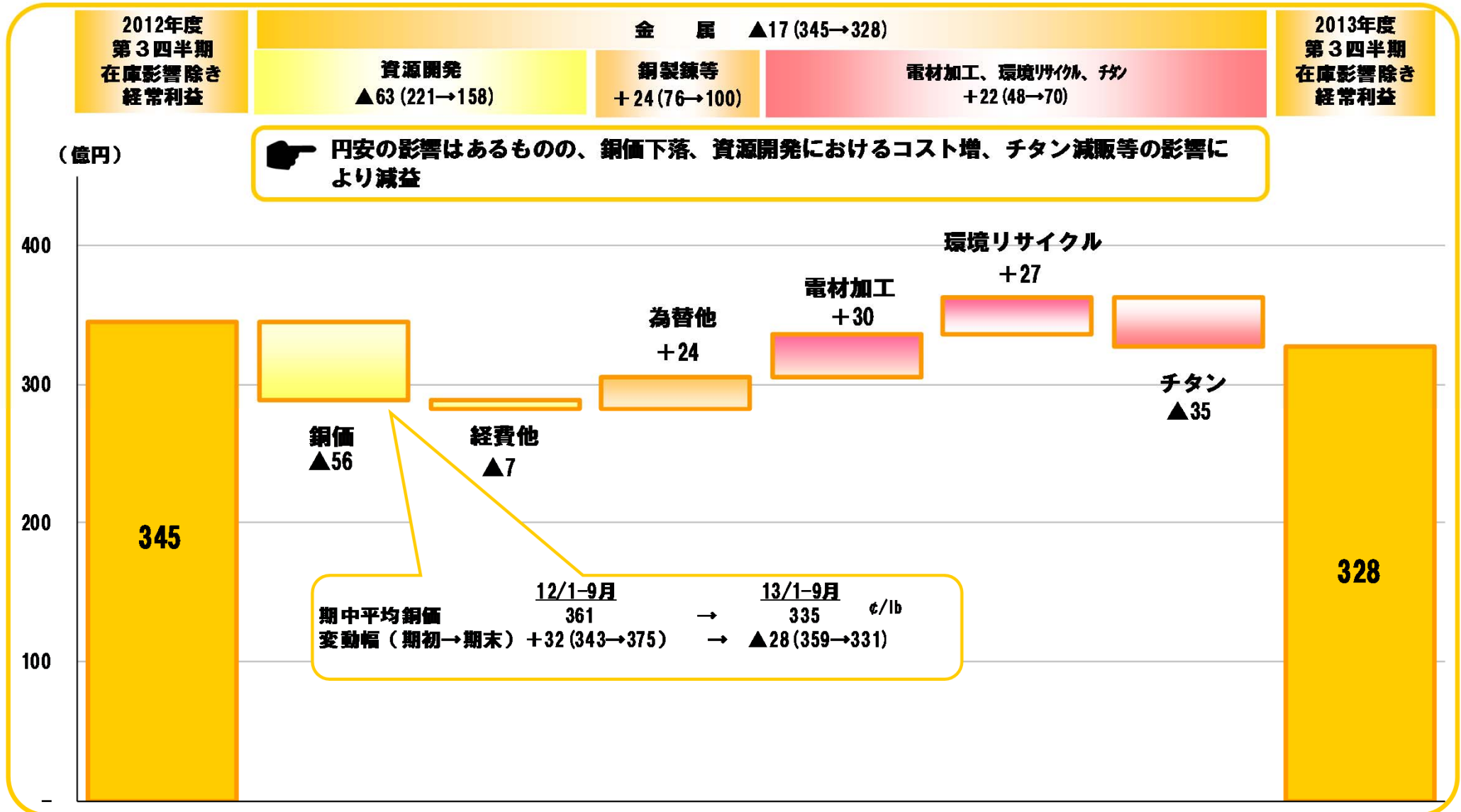
# 2013年度第3四半期 エネルギー事業 経常利益増減 (前年比)



# 2013年度第3四半期 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減 (前年比)



# 2013年度第3四半期 金属事業 経常利益増減 (前年比)



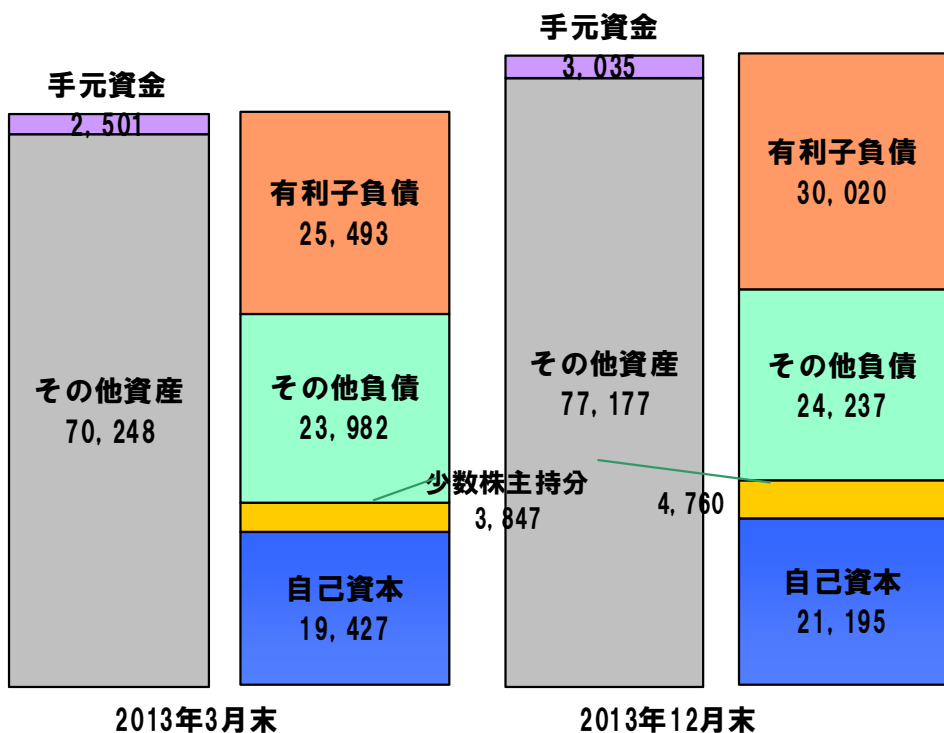
# 2013年12月末 連結バランスシート 2013年度第3四半期 連結キャッシュフロー



## (連結バランスシート)

総資産：72,749

総資産：80,212



手元資金を除いた  
ネット有利子負債は  
3,993億円増加  
(ネットキャッシュ  
フローのマイナス  
[3,646億円]等によ  
り)

## (連結キャッシュフロー)

経常利益	2,559
減価償却費	1,378
運転資金	▲3,365
法人税他	▲619
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>▲47</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>▲3,580</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>▲3,627</b>
配当他	▲19
<b>ネットキャッシュフロー</b>	<b>▲3,646</b>

季節要因等により、運転資金は増加

	2013年3月末 (実績)	2013年12月末 (実績)
自己資本比率	26.7%	26.4%
ネットD/Eレシオ	1.18	1.27

## 2013年度決算見通し (2013年4月1日～2014年3月31日)

- ✓ 足元の資源価格、為替レートの動向を勘案し、2014年1月～3月の前提条件を見直し。
- ✓ 経常利益は前回見通しと同じ。ただし、在庫影響を除いた経常利益は、石油製品マージン悪化等により前回見通し比減益

### (前提条件) 2014年1月～3月

- 原油価格：105ドル/バーレル
- 銅価：320セント/ポンド
- 為替レート：100円/ドル

### 【前回公表時(2013年11月)前提条件】

2013年10月～2014年3月

- 原油価格：100ドル/バーレル
- 銅価：320セント/ポンド
- 為替レート：95円/ドル

# 2013年度 通期見通し 概要 (前回見通し比)

\* 3月から2月の平均 (≒到着ベース)

原油代(トバ'イ) (\$/B) *
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)
売上高
営業利益
営業外損益
経常利益 (うち在庫影響)
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2013年度 見通し (11月公表)	
	102
暦年へ'ス (331)	321
暦年へ'ス (96)	97
(億円)	
	118,600
	2,150
	850
	3,000
	( 400 )
	2,600
	▲250
	1,500

2013年度 見通し (今回)	
	105
暦年へ'ス (332)	322
暦年へ'ス (98)	100
(億円)	
	123,000
	2,150
	850
	3,000
	( 1,000 )
	2,000
	▲300
	1,500

差 異			
	+3		+3%
暦年へ'ス (+1)	+1	暦年へ'ス (+0%)	+0%
暦年へ'ス (+2)	+3	暦年へ'ス (+2%)	+3%
(億円)			
	+4,400		+4%
	±0		±0%
	±0		±0%
	±0		±0%
	( +600 )	( +150% )	
	▲600	▲23%	
	▲50	-	
	±0		±0%

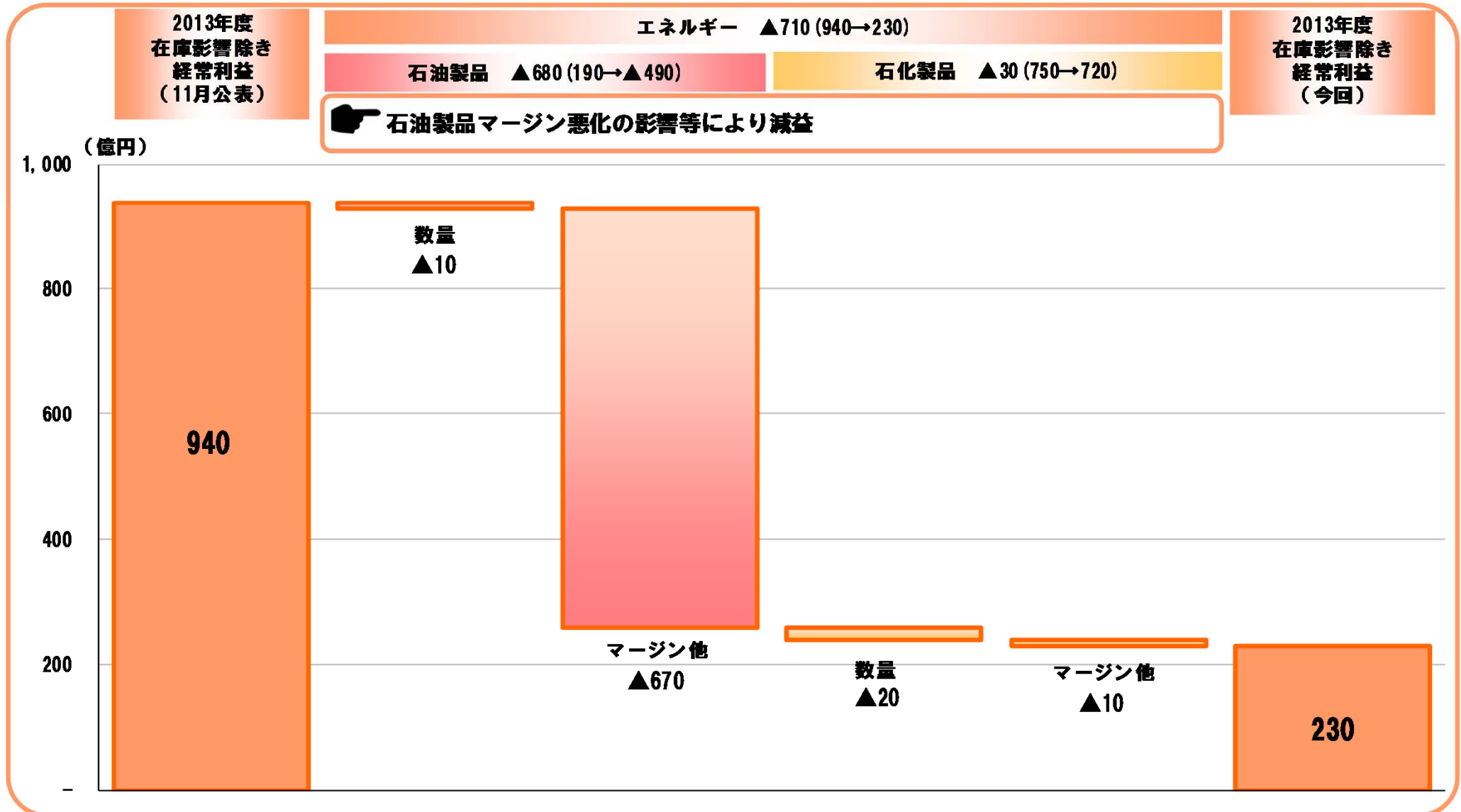
# 2013年度 セグメント別経常利益（前回見通し比）



	2013年度 見通し (11月公表)	2013年度 見通し (今回)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>エネルギー事業</b>	<u>1,320</u>	<u>1,200</u>	<u>▲120</u>	<u>▲9%</u>
（うち在庫影響）	( <u>380</u> )	( <u>970</u> )	( <u>+590</u> )	<u>+155%</u>
<b>在庫影響除き</b>	<u>940</u>	<u>230</u>	<u>▲710</u>	<u>▲76%</u>
（うち石油製品）	( <u>190</u> )	( <u>▲490</u> )	( <u>▲680</u> )	<u>▲358%</u>
（うち石油化学製品）	( <u>750</u> )	( <u>720</u> )	( <u>▲30</u> )	<u>▲4%</u>
<b>石油・天然ガス開発事業</b>	<u>910</u>	<u>1,040</u>	<u>+130</u>	<u>+14%</u>
<b>金属事業</b>	<u>440</u>	<u>440</u>	<u>±0</u>	<u>±0%</u>
（うち在庫影響）	( <u>20</u> )	( <u>30</u> )	( <u>+10</u> )	<u>+50%</u>
<b>在庫影響除き</b>	<u>420</u>	<u>410</u>	<u>▲10</u>	<u>▲2%</u>
<b>その他</b>	<u>330</u>	<u>320</u>	<u>▲10</u>	<u>▲3%</u>
<b>経常利益 計</b>	<u>3,000</u>	<u>3,000</u>	<u>±0</u>	<u>±0%</u>
<b>在庫影響除き</b>	<u>2,600</u>	<u>2,000</u>	<u>▲600</u>	<u>▲23%</u>

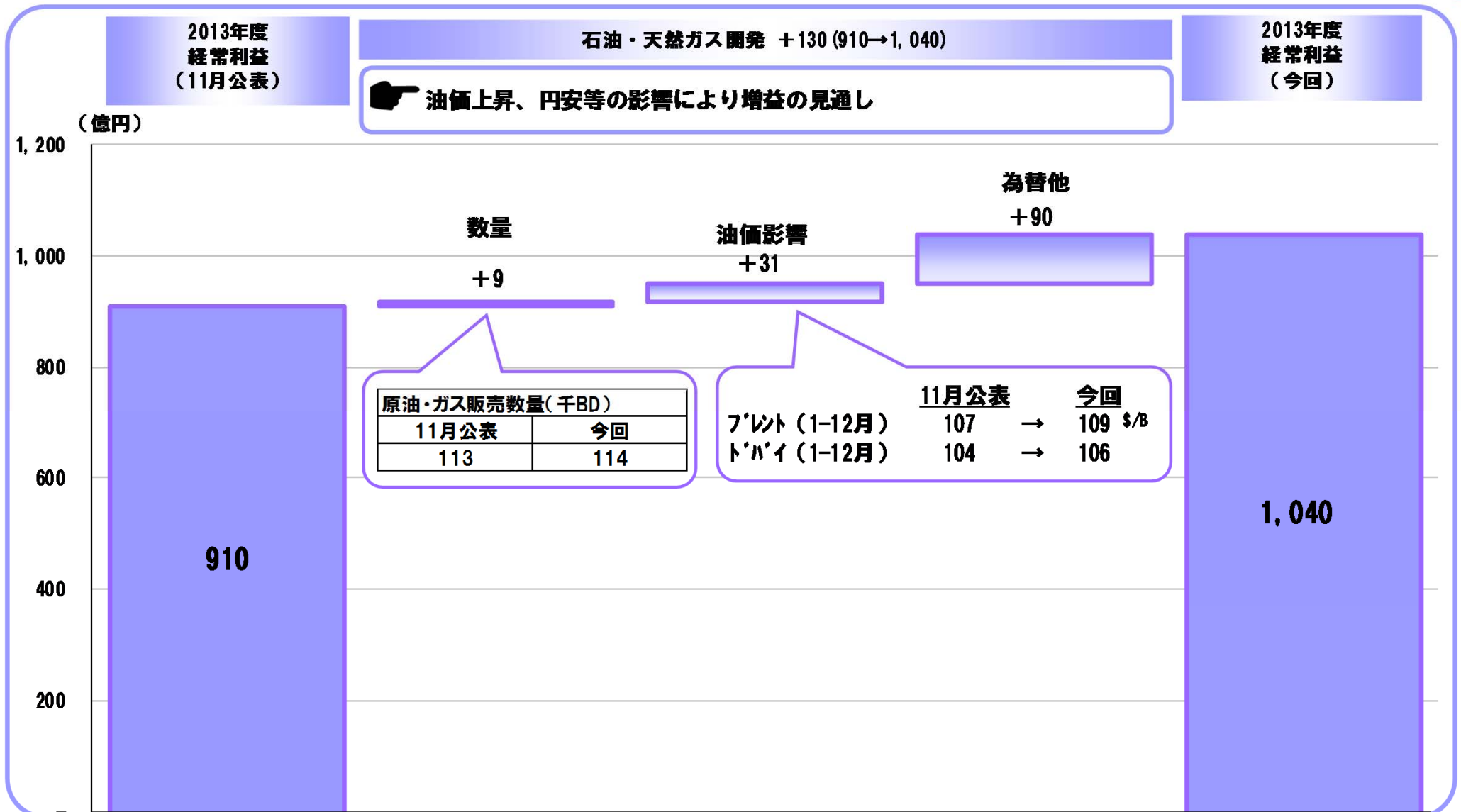
# 2013年度 エネルギー事業 経常利益増減

(前回見通し比)



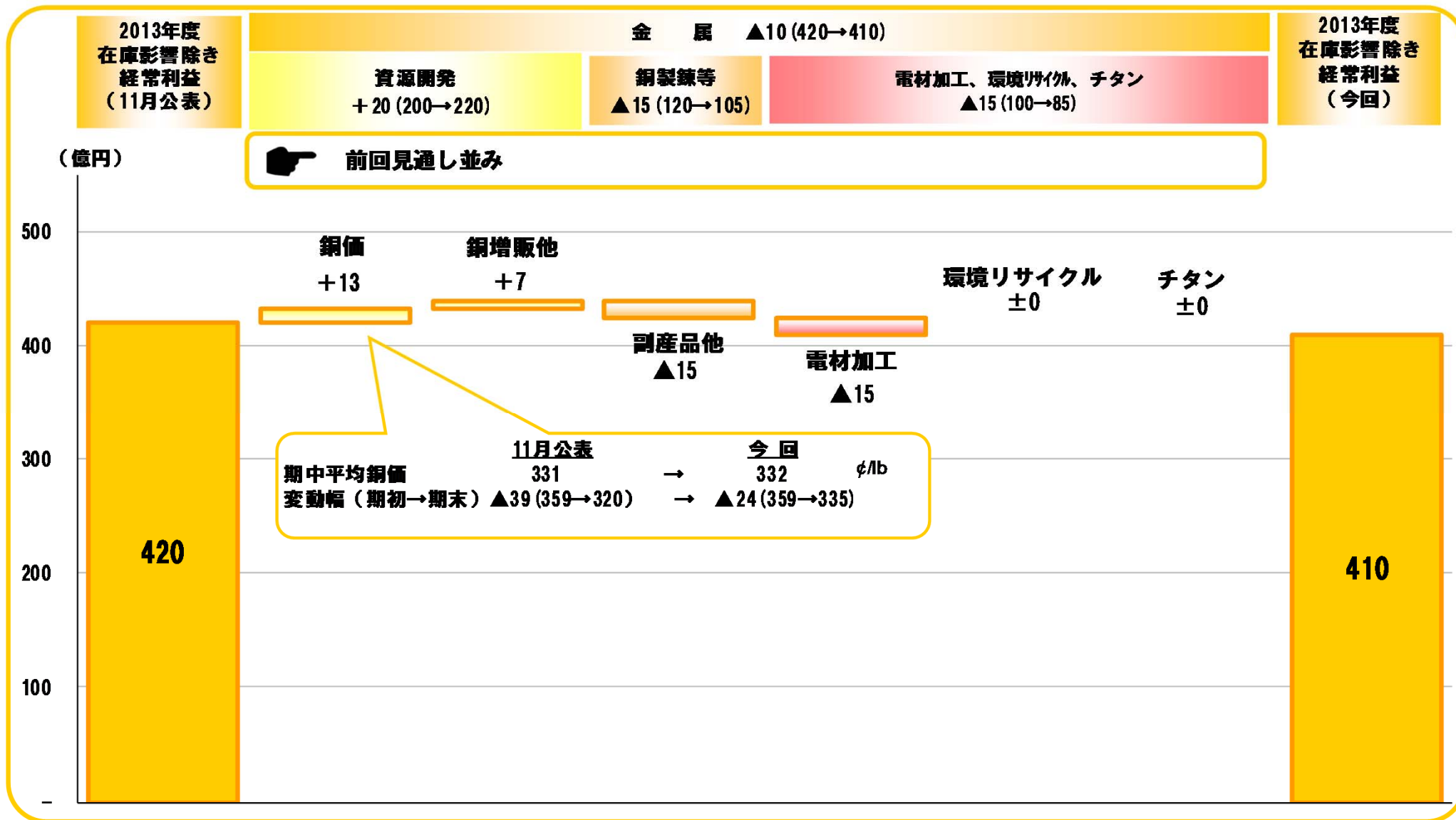


# 2013年度 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減 (前回見通し比)



# 2013年度 金属事業 経常利益増減

(前回見通し比)



# 2013年度 セグメント別経常利益（前年比）



	2012年度 (実績)	2013年度 (見通し)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>エネルギー事業</b>	1,616	1,200	▲416	▲26%
（うち在庫影響）	( 588 )	( 970 )	( +382 )	+65%
<b>在庫影響除き</b>	1,028	230	▲798	▲78%
（うち石油製品）	( 561 )	( ▲490 )	( ▲1,051 )	-
（うち石油化学製品）	( 467 )	( 720 )	( +253 )	+54%
<b>石油・天然ガス開発事業</b>	936	1,040	+104	+11%
<b>金属事業</b>	440	440	±0	±0%
（うち在庫影響）	( ▲15 )	( 30 )	( +45 )	-
<b>在庫影響除き</b>	455	410	▲45	▲10%
<b>その他</b>	291	320	+29	+10%
<b>経常利益 計</b>	3,283	3,000	▲283	▲9%
<b>在庫影響除き</b>	2,710	2,000	▲710	▲26%

# 前提条件

		2012年度			2013年度		
		上期	3Q (累計)	通期	上期	3Q (累計)	通期
		実績	実績	実績	実績	実績	見通し (2月公表)
共通	為替レート (円/ドル)	79	80	83	99	99	100
エネルギー	ドバイ原油価格<年度>* (ドル/バーレル)	108	109	109	103	104	105
石油・天然 ガス開発	原油換算販売数量 (千バーレル/日)	121	119	117	110	111	114
	ブレント原油価格<暦年> (ドル/バーレル)	113	112	109	108	109	109
金属	銅価格LME<暦年> (セント/ポンド)	367	361	361	342	335	332
	銅鉱山権益生産量 (千トン/期・年)	52	69	105	59	91	127
	PPC銅販売量 (千トン/期・年)	267	393	551	289	434	589
	圧延銅箔販売量 (千km/月)	2.7	2.8	2.7	3.0	3.1	3.0
	精密圧延品生産品販売量 (千トン/月)	3.5	3.4	3.3	3.4	3.5	3.5
	環境リサイクル金回収量 (トン/期・年)	2.9	4.3	5.8	3.1	4.6	5.9

\*到着ベース

# 感応度

## ■前提条件（2014年1月以降）

為替：100円／ドル

原油：105ドル／バーレル  
（ドバイスポット）

銅価：320セント／ポンド

## ■市況変動による2013年度経常利益への影響額

※2013年度第4四半期（3ヶ月間）への影響額

変動幅	変動項目	影響度	
		(億円)	
1円/ドル 円安	エネルギー（燃費増、石化マージン良化等）	(±)	0
	石油・天然ガス開発（期末換算）	(-)	1
	金属（マージン良化、為替換算差等）	(+)	1
	小計	(±)	0
	在庫影響	(+)	60
	合計	(+)	60
1ドル/バーレル 上昇	エネルギー（燃費増等）	(-)	5
	在庫影響	(+)	55
	合計	(+)	50
10セント/ポンド 上昇	金属	(±)	0
	合計	(±)	0



# 主要プロジェクト進捗状況（金属①）



## 金属

### カセロネスプロジェクト（チリ）①

◆ 銅精鉱生産開始に向けて最終段階へ



カセロネス遠景



SAG (Semi-Autogenous Grinding) ミル  
(粉碎設備)



ボールミル  
(粉碎設備)



浮遊選鉱設備  
(粗鉱から銅精鉱を回収する設備)

# 主要プロジェクト進捗状況（金属②）



## 金属

### カセロネスプロジェクト（チリ）②

- ◆ 28年間の長期に亘り、銅精鉱の安定調達に寄与
- ◆ 資源・製錬のバランスの取れた高収益事業体制を構築

➤ 初期投資額： 42億ドル

➤ 生産期間： 2013～2040年（28年間）  
 SX-EW電気銅生産開始・・・2013年3月  
 鉱石処理試運転開始（予定）・・・2014年2月

➤ 生産計画：

		当初10年間	28年平均	28年合計
銅	精鉱（銅量）	15万トン/年	11万トン/年	314万トン
	SX-EW電気銅	3万トン/年	1万トン/年	41万トン
	合計	18万トン/年	12万トン/年	355万トン
モリブデン		3千トン/年	3千トン/年	87千トン



# 主要プロジェクト進捗状況（エネルギー、石油・天然ガス開発）



## エネルギー

### パラキシレンプロジェクト（韓国）

#### ◆ 建設工事が順調に進捗

2014年5月 プラント建設完了予定

2014年8月 商業生産開始予定

#### ➤ グループ生産能力は年産312万トンに

生産能力：年間約100万トン

総投資額：約800億円

出資比率：JX日鉱日石エネルギー 50%-1株  
SKグローバルケミカル 50%+1株



## 石油・天然ガス開発

### LNGプロジェクト（PNG）

#### ◆ LNG販売契約締結済み（650万トン）

#### ◆ 出荷開始に向けた開発作業が着実に進行

2014年後半 出荷開始予定

#### ➤ 東アジアの需要家へLNGを安定供給

生産能力：年間690万トン

権益比率：4.68%

オペレーター：Exxon Mobil





本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- ( 1 ) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- ( 2 ) 法律の改正や規制の強化、
- ( 3 ) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。